



がん治療センターニューズレター

リスク低減乳房切除術 — “がんにならないため”の 新しい選択肢 —



順天堂大学
医学部附属順天堂医院
乳腺センター センター長
九富 五郎

リスク低減乳房切除術とは

乳がん治療は近年大きく進歩していますが、その一方で「乳がんの発症を予防する医療」への関心も高まっています。その代表的な方法の一つが、「リスク低減乳房切除術」です。これは、将来乳がんを発症する可能性が非常に高い方に対して、予防的に乳房を切除する手術です。

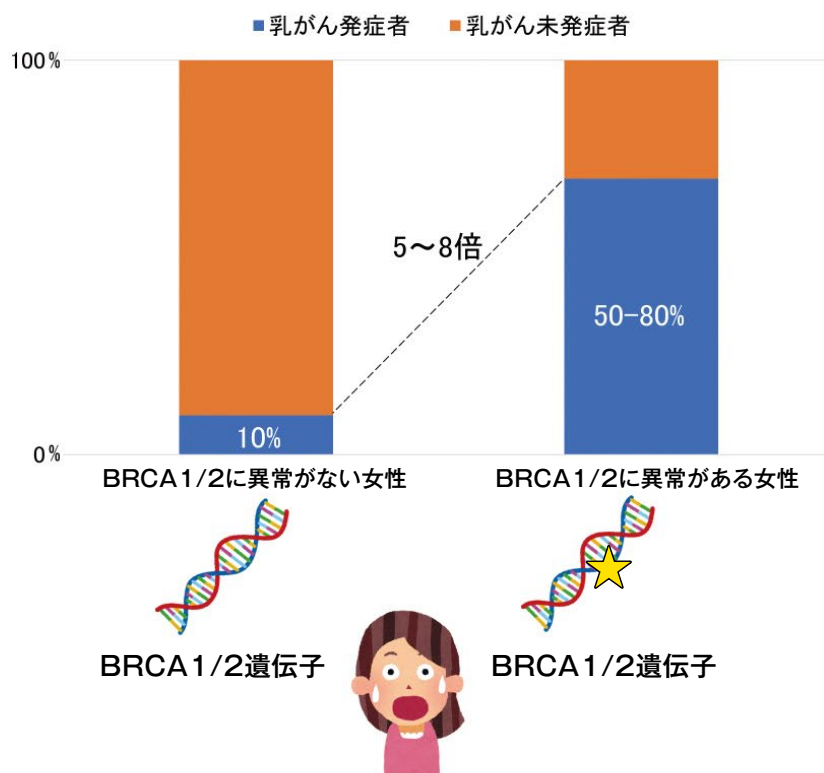
乳がん患者さんの多くは、生活習慣や環境因子などにより発症します。しかし、乳がん患者さんのうち約10%は、生まれつき特定の遺伝子に変化があって、それが原因で発症することがわかってきました。



一生涯で乳がんを発症するリスク

これら遺伝子の中で良く知られているものとして、BRCA1やBRCA2という遺伝子があります。この遺伝子は乳がんの発症を防ぐ遺伝子なのですが、この遺伝子が壊れて働かなくなると乳がんができやすくなります。一般の女性では、生涯に乳がんになる方は100人中10人程度ですが、BRCA1またはBRCA2遺伝子に生まれつき異常がある方では、100人中50～80人程度が乳がんになると考えられています。つまり、一般の方より5～8倍ほど乳がんになりやすい体質を持っていると考えられます(図1)。

図1. 一生涯で乳がんを発症するリスク



さらにこの遺伝子の異常は、乳がんだけでなく卵巣がんなども発症しやすいこともわかってきています。近年では、ハリウッド女優アンジェリーナ・ジョリー氏が、自身のBRCA1遺伝子に異常がある事を公表して、予防的に乳房切除・卵管卵巣切除を受けたこともニュースになりました。

「リスク低減乳房切除術」により、乳がん発症リスクは90%以上低下すると報告されています。ただし、発症リスクが完全になくなるわけではありません。また、この手術は「現在あるがんを治療する」ものではなく、「将来のリスクを減らす」ための医療である点も重要です。

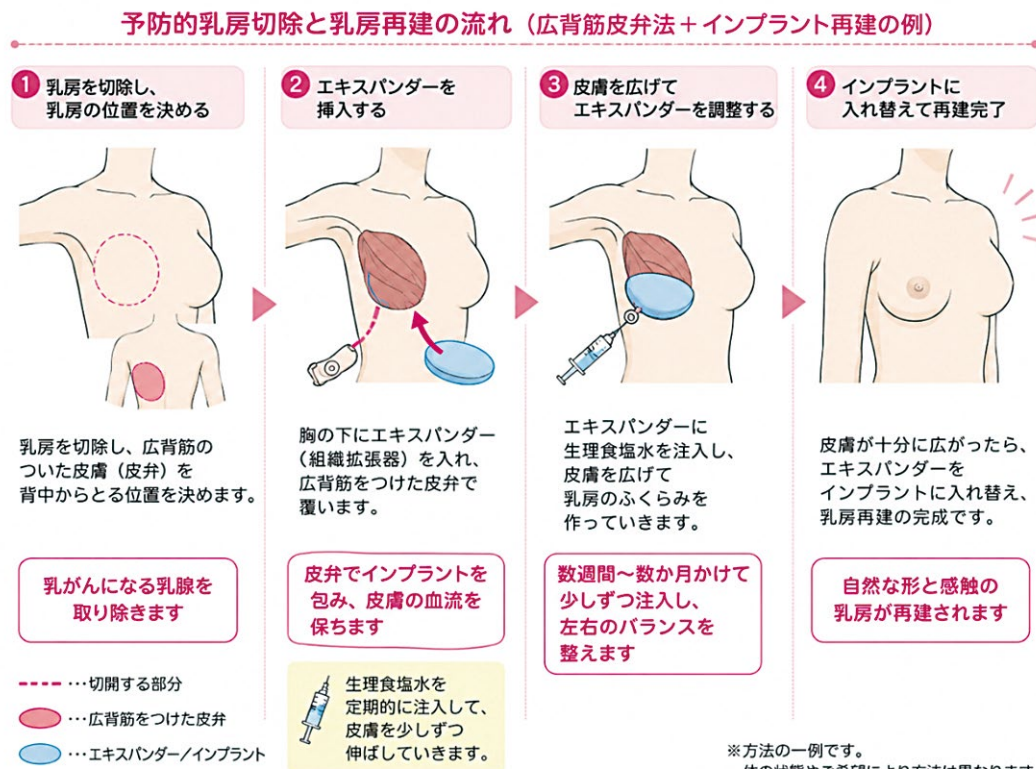
「リスク低減乳房切除術」を検討する際には、遺伝カウンセリングや遺伝学的検査を十分に行い、ご本人やご家族が納得したうえで意思決定することが大切です。身体的負担だけでなく、「乳房を失うこと」に対する心理的影響も少なくありません。そのため、乳腺外科医だけでなく、形成外科医、遺伝カウンセラー、看護師など多職種による支援が重要になります。ガイドラインでも予防的切除が弱く推奨されていることはきちんとお伝えする必要があると思われます(図2)。

図2. 多職種による意思決定支援



また、現在では乳房再建術も進歩しており、例えばインプラント(乳房の形を作るために体の中に入れる人工乳房のこと)を用いて乳房の形態を可能な限り保つことができます(図3)。予防手術と同時に再建を行うケースも増えています。

図3. 乳房再建の流れ



※方法の一例です。
体の状態やご希望により方法は異なります。

(生成AI支援により作成)

乳がん医療は、「治す医療」から「予防する医療」へと広がりを見せています。リスク低減乳房切除術は、その中の重要な選択肢の一つです。大切なのは、一人ひとりが正しい情報をもとに、自分らしい選択を行うことです。

がん情報をどう集める？

順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター 看護師 中野 真理子

皆様は、どのように病気の情報を探しますか？

今は、テレビ、新聞、雑誌、インターネット、ソーシャルネットワーキングシステム(SNS)、生成AIなど、様々な方法でがんに関する情報を得ることができます。特に近年では、生成AIが革新的に進歩しており、生成AIで調べる方も多いかと思います。どの方法で情報を集めるにしても、大事なことは、信頼できる情報にたどりつくことです。各情報源にはそれぞれの特徴があります(図1)。

図1. 各情報源の特徴 (参考文献1-3を参考に作成)

【テレビ、雑誌など】

- 面白さ、わかりやすさ、旬の話題や視聴者の関心をひきやすいものが多い
- わかりやすく伝えるために、詳細が省かれていたり、一部表現が誇張される可能性がある
- 特殊な症例を大きくとりあげる場合がある



【インターネット】

- 上位を広告が占める場合がある(非科学的な療法や健康食品などが出てくる)
- 危険または有害サイトもある
- どの発信で、更新日はいつかを確認することが必要
- SNSでの個人の体験談や口コミは、あくまで体験談としてみる



【生成AI】

- 正確性の問題(ハルシネーション)がある
- 出典元の確認が必要になる
- インターネットに公開されていない情報は拾いきれない
- 最終的には人間の判断が必要



【書籍】

- 知りたい情報にたどりつくまで時間を要する場合がある
- 複数書籍が必要になる可能性がある
- 発行年に注意が必要である(情報が古い場合がある)



インターネット上などで信頼できる情報源としては、厚生労働省や国立がん研究センターのがん情報サービスなどがあり、これらは公的な機関の情報であり、複数の専門家のチェックを受けているため**信頼性が高いと考えられます**。その他、医学系の各種専門学会の情報や診療ガイドラインも信頼できる情報源と考えます。特に、患者向け診療ガイドラインは、わかりやすい文章で書かれており、治療だけではなく症状、検査、副作用対策、療養に関する内容が網羅されています(図2)。

図2. 各種ガイドラインなど

順天堂医院のがん治療センターには、
診療ガイドラインや、

患者向けガイドラインの一部が設置されています。

院内での貸し出しも可能です(院外への持ち出しはご遠慮ください)。

【注】診療ガイドラインでも最新の治療情報には
追いついていない場合があります。



もちろん、患者さん個々のがん治療の内容や病状は、主治医が一番理解しています。病気のことではわからないことや疑問に思ったことは、医師に聞いてみましょう。ただ、やはり医師に時間をかけて聞くことが難しい場合もあるかと思います。そんな時は、がん相談支援センターにお気軽にご相談ください(相談は予約制です)。

参考文献:

- 1) 勝俣範之:インフォデミック時代の医療スタンス,臨床麻酔,2026;50(増):323-31
- 2) 国立がん研究センターがん対策研究所 編著:国立がん研究センターのがんになったら手にとるガイド,小学館クリエイティブ,東京,2025.24-25.
- 3) 国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策研究所 編:がん専門相談員のための学習の手引き実践に役立つエッセンス第4版,株式会社学研,東京,2025.289-293.

ミニレクチャーのご案内

患者さんやご家族の方々が病気やその治療について理解を深めていただけるよう、テーマを決めて定期的に動画配信を行っています。

最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。



2026年7月配信

「知らないと損する大腸内視鏡の話」

消化器内科医師

村上 敬

2026年9月配信予定

「がんと脳梗塞の意外なつながり ～大切な人を守るために知っておきたいがん関連血栓症～【仮題】」

脳神経内科医師

中島 翔

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください(過去のミニレクチャーもご覧いただけます)。

URL:<https://hosp.juntendo.ac.jp/clinic/center/cancer/program/mini.html>

順天堂医院 がん治療センターミニレクチャー | 検索



アピアランスケア個別相談会のご案内

アピアランスとは「外見」という意味です。

治療に伴う容姿の変化で気になることを、美容ケア専門家に相談できます。

開催日時及び詳細は、ホームページ(下記URLまたはQRコード)をご覧ください。事前申込制となっておりますので、電話またはがん治療センター受付にて直接お申し込みください。

(定員1日5人、1人30分)



<https://hosp.juntendo.ac.jp/clinic/center/cancer/program/appearance.html>

順天堂医院 がん治療センター アピアランスケア個別相談会 | 検索



がん茶論のご案内

「がん茶論」は、患者さんご家族が主役の会です。

今気になっていることを話し合ったり、他の人の経験を聞いて参考にしたり、がんと共に生活する上で役立つ情報を聞いたりする会です。

事前申込制となっておりますので、電話またはがん治療センター受付にて直接お申し込みください。

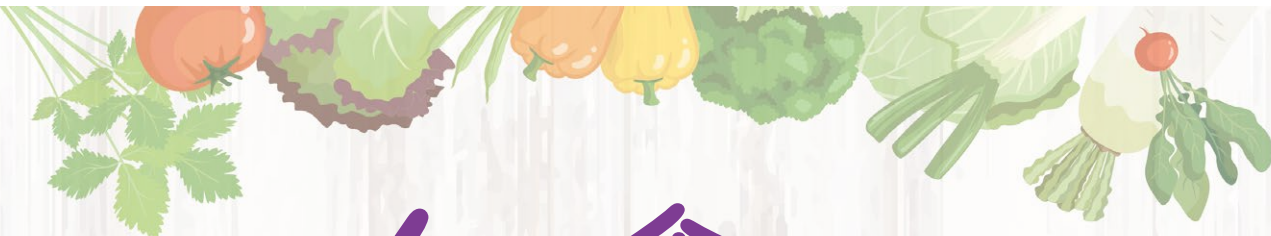


URL:<https://hosp.juntendo.ac.jp/clinic/center/cancer/program/salon.html>

順天堂医院 がん治療センター がん茶論 | 検索



▶ お問い合わせ・・・03-5802-8196



旬の食材

今回は夏から秋にかけて旬を迎える
「ブドウ」についてご紹介します。

栄養部 大脇 真有

ブドウは果皮の色によって黒・赤・緑の大きく3つに分けられます。

《例》黒色…巨峰、赤色…デラウェア、緑色…マスカット

特に黒や赤色のブドウの皮に多く含まれているのが「アントシアニン」という抗酸化物質です。ポリフェノールの一種で、動脈硬化や発がん物質の原因といわれている活性酸素の作用を抑える効果が期待できるため、皮ごと食べるのがおすすめです。

一方、緑色のブドウは黒や赤色に比べてポリフェノールの含有量が少なめですが、その分渋みが少なく、さっぱりとした味わいが特徴です。



がん治療センターニュースレター

【2026年9月 第52号】 創刊 2009年5月(年3回発行)

●発行元: 順天堂医院 がん治療センター

●住所: 東京都文京区本郷3-1-3

●電話番号 & ファクシミリ: 03-5802-8196

●Eメール: cancer@juntendo.ac.jp

●ホームページ: <https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/>

